



しあわせ信州



長野県(木曽地域振興局)プレスリリース 平成29年(2017年)5月2日

平成29年度「地域発 元気づくり支援金」 木曽地域の45事業が内定しました

「地域発元気づくり支援金交付要綱」に基づき、木曽地域選定委員会による審査を経て、下記のとおり内定しました。

1 事業区分別の選定状況

(単位:千円)

事業区分		選 定 状 況		
		件数	支援額	事 業 例
1	地域協働の推進	0	0	
2	保健、医療、福祉の充実	3	2,873	健康づくり、傾聴ボランティア
3	教育、文化の振興	7	7,042	伝統行事映像記録、芸術展
4	安全・安心な地域づくり	4	5,762	災害記録誌、御嶽山安全パトロール
5	環境保全・景観形成	6	7,679	公園環境整備、自然エネルギー出前講座
6	産業振興、雇用拡大 (小計)	23	31,409	
(1)	特色ある観光地づくり	10	17,682	英語表記看板整備、イベント開催
(2)	農業の振興と農山村づくり	5	5,193	軽トラ市開催、えごま栽培
(3)	森林づくりと林業の振興	2	2,201	水源の森を育てる地域間交流
(4)	商業の振興	0	0	
(5)	その他	6	6,333	開田高原ヘルスツーリズム、ろくろの魅力発信
7	市町村合併に伴う地域の連携の推進	0	0	
8	その他地域の元気を生み出す地域づくり	2	5,886	ホームページ一元化
合 計		45	60,651	

2 申請者区分別の選定状況

申請者区分	件数	支援額	備 考
市町村	14	23,207	
広域連合	1	902	
公共的団体(地域づくり団体・NPO等)	30	36,542	
合 計	45	60,651	



長野県PRキャラクター「アルクマ」



世界級リゾートへ、
ようこそ。山の信州
信州destinationキャンペーン
2017.7.1-9.30

しあわせ信州創造プラン(長野県総合5か年計画)推進中

木曽地域振興局 企画振興課
早川恵利(課長)、若林博、鎌田和紀
電話：0264-25-2212
FAX：0264-23-2583
E-mail kisochi-kikaku@pref.nagano.lg.jp

平成29年度 地域発 元気づくり支援金 【木曾地域】 選定事業一覧表

(平成29年5月2日現在)

No.	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①:ソフト事業 ②:ハード事業)	総事業費(千円)		支援金内定額(千円)	重点テーマ区分
							うち支援金要望額		
1	保健、医療、福祉の充実	ハード	オール南木曾！運動連携プロジェクト	なぎそチャレンジクラブ	南木曾チャレンジクラブではスポーツ等を通じ住民の心身健康づくりをおこなっている。H28年にパワーアップ講師を招いて講演を行ったところ南木曾町社会体育館トレーニングルームの利用者が大幅に増加した。利用者の要望により脚力を重視した筋力トレーニング機器を充実させたい。(50歳以上の利用者が61%強) ②運動機器購入(2,383千円)冷暖房機器(378千円)	2,761	2,070	1,787	ACE
2	保健、医療、福祉の充実	ソフト	地域の皆さんと一緒に健康づくり！	特定非営利活動法人のぞみの里	高齢者が生き生きと健康で長生きできるよう、軽運動、音楽療法、料理講習会、健康・福祉相談など「健康づくり」をテーマとした事業を実施する。 ①健康づくり事業(935千円)	935	701	701	
3	保健、医療、福祉の充実	ソフト	傾聴ボランティア養成事業	傾聴ボランティア木曾	特養、デイサービスや一人暮らしのお年寄りの家へ行き、傾聴(話を聞く)ボランティアを行っている。(65歳以上が主)木曾郡各町村に会員はいるが、高齢等によりメンバーが入れ替わる為、5年に1度くらい専門家による養成基礎講座を開催し技術、スキルアップを図りたい。 ①基礎講座開催2日間(248千円)フォローアップ講座1日(134千円)チラシ13,000枚等(104千円)	486	385	385	医療福祉
4	教育、文化の振興	ソフト	重伝建妻籠地区の存在価値伝承・再認識促進事業	南木曾町	妻籠宿保存50周年の節目として記念式典を平成30年2月3日に行う予定であり、その際に街並み保存活動のPRを内外に再度アピールしていくためのリーフレットを作成したい。26,000部。 ①リーフレット作成費(449千円)	449	336	336	
5	教育、文化の振興	ソフト・ハード	田立花馬祭り300年記念祭	田立花馬祭り保存会	田立花馬まつりが今年300年の記念祭として6/18に実施される。記念式典として講演会、記念誌、花馬まつりの説明看板等を作成する。また今回はDVDで映像を保存し博物館(妻籠)・桃介記念館で常時放映を行いたい。 ①講演会(9千円)記念誌(171千円)パンフレット・ポスター(156千円)映像保存(943千円)馬借用3頭(310千円)馬飾り(122千円)出演者衣装等(596千円)記念品(193千円) ②説明看板設置(568千円)記念碑(157千円)	3,225	2,542	2,390	地域資源
6	教育、文化の振興	ソフト	ありがとう木曾福島会館閉館記念事業	木曾町	木曾福島地域の公民館活動、生涯学習の場として利用してきた木曾福島会館が7月に閉館となるため、感謝の意を込めてメモリアルな展示を行うとともに、取り壊しの決まった建物だからこそできるアートイベントを子どもたちとワークショップ形式で実施する。 ①ワークショップ(405千円)、歴史展ほか(235千円)	640	479	479	
7	教育、文化の振興	ハード	開田小学校水車小屋再生事業	木曾町	開田小学校の「開田科」の授業で使われている水車小屋の石置き屋根が傷んでいるため、屋根材を全て開田地区で保管されているサワラの板材と交換し再生を図ることにより、技術を継承するとともに、子どもたちの郷土への理解や知識を深める。田おこしから田植え、稲刈り、脱穀、精米まで手作業で行える。 ②水車小屋屋根修繕(600千円)	600	400	400	
8	教育、文化の振興	ソフト	建築景観研究に関する情報発信事業	榑まちづくり木曾福島	産家づくりに関する調査研究の成果を、小冊子及び映像にまとめて発表するとともに、有識者・住民との意見交換を行い、住民が産家づくりに関する考える機会を設けるため、「産家づくりシンポジウム」を開催する。これにより景観意識の向上につなげる。 ①調査活動(601千円)、小冊子製作(443千円)、映像制作(190千円)、シンポジウム開催(405千円)缶バッジ(54千円)	1,693	1,354	1,354	地域資源
9	教育、文化の振興	ソフト	木曾ペインティングス	木曾ペインティングス実行委員会	中山道の中継点である木曾地域に、東西からアーティストや美術大学生が集まり、地域住民との共同作業で木曾をテーマに作品制作・展示・ワークショップを行い、地域内外や海外からも人を呼ぶことにより、地域の活性化を促す。また広域交流として木曾路美術館においてメキシコの木工作品の展示会とワークショップ(製作)を行う。 ①宣伝告知・印刷物(571千円)、展示・講演(453千円)、木曾路美術館ワークショップ(677千円)	1,701	1,361	1,285	移住促進
10	教育、文化の振興	ソフト	金澤翔子・金澤泰子講演会	金澤翔子・金澤泰子講演会実行委員会	障がい者やその家族、木曾養護学校等と協力して、ダウン症の天才書家、金澤翔子さんによるライブパフォーマンス、金澤翔子さんの母、金澤泰子さんによる講演会を開催する。また、木曾の復興のシンボルとして、「つながる木曾」等の書から横断幕を作成し公開する。 ①ライブパフォーマンス・講演会(1,091千円)	1,091	818	798	
11	安全・安心な地域づくり	ソフト	災害記録集作成事業	南木曾町	平成26年7月の南木曾町梨沢土石流災害の工事竣工式が7月9日に行われる。この災害の住民の体験をふまえた記録集を作成し町民や関係者に配布し災害の風化と防災意識の低下が起きないようにする。 ①災害記録集作成(554千円)	554	443	443	地域防災
12	安全・安心な地域づくり	ハード	田立地域防災・救命体制づくり事業	田立地域振興協議会	田立地域は6地区に分かれているが災害時には孤立してしまう集落が点在している。今回向粟畑地区の集会所を拠点として防災設備を充実させ地域の安全安心を守るようにしたい。また、防災訓練、救命訓練を行い地域住民の意識の向上と安全対策を確認する。 ①防災資材(112千円) ②ネット(222千円)AED(254千円)	599	453	453	地域防災
13	安全・安心な地域づくり	ソフト	災害に強い地域づくり推進事業	木曾町	民間募集した「御嶽山安全パトロール隊」や山小屋関係者との連携による山の安全監視業務及び登山者への啓発活動を行い、御嶽山は活火山であることの認識及び安全対策などにより安心して登山できることの理解を促すことにより、登山者の増加を図る。 ①リフト借上料(308千円)、パトロール隊消耗品(429千円)、山小屋使用料(5,256千円)	5,993	4,077	4,077	地域防災
14	安全・安心な地域づくり	ハード	地域から始める安全安心貯金箱	木祖村	行政区全22地域に消防防災倉庫を設置し、村の事業(ソフト)で防災用品を区の要望に応じ買いそろえる。8月22日の防災訓練の日に合わせて役場の主導で各地区防災イベントを行って意識を向上させる。単費ソフト2,200千円。 ②防災倉庫22個(4,633千円)	6,833	3,474	789	地域防災
15	環境保全、景観形成	ハード	南木曾町内のリサイクル事業	南木曾町社会福祉協議会	ひだまり工房通所者の作業内容の一部としてアルミ缶の回収を行っており、作業効率を上げるためにアルミ缶圧縮機の購入をしたい。これにより作業効率を上げて他の仕事に手が回ることにより地域の環境整備に貢献していきたい。 ②アルミ圧縮機(578千円)	578	385	385	
16	環境保全、景観形成	ハード	東山公園環境整備事業	三留野地域振興協議会	南木曾町三留野地区にある東山公園は大正天皇の即位を記念した石碑があり、戦時中には飛行機の飛来を監視する「監視塔」が設置され戦後は公園として使われていたが、月日がたち管理がされていないため荒れてしまったため3年計画で公園整備をしたい。 ②重機使用料(351千円)石碑修繕(97千円)看板設置(162千円)	610	457	457	地域資源
17	環境保全、景観形成	ソフト	木曾地域自然エネルギー普及促進事業	自然エネルギー木曾地域協議会	会員が小中学校に出向いて、自然エネルギー活用や省資源省エネルギーについてのアイデアを提供する講座を開くとともに、関連する夏休みの自由研究を募集し、優秀な研究の表彰式と巡回展を開催する。 ①出前講座(63千円)コンクール(213千円)表彰式(121千円)巡回展(183千円)	580	463	463	地域資源
18	環境保全、景観形成	ソフト	美しい木曾路の沿道景観整備発信事業	木曾風景街道推進協議会	木曾にふさわしい景観の目標・方針、修景シミュレーションや取組事例を掲載したパンフレット(20,000部)を住民に広く配布するとともに、有識者の講演会や地域団体の活動発表など「美しい木曾路の景観シンポジウム」を開催する。 ①パンフレット配布(430千円)、広告(432千円)、シンポジウム開催(43千円)	905	724	724	地域資源
19	環境保全、景観形成	ソフト・ハード	木祖村景観形成推進事業	木祖村	木祖村景観計画により村民と信天工学部、建築士のメンバーによりモデル事業を実施する。アクションプランの作成、景観支障木伐採が今年度の主な取組。 ①アクションプラン作成委託料(1,404千円)景観形成認定証(121千円) ②支障木伐採(3,285千円)味噌川ダム付近斜面被覆整備(1,080千円)モデルゴミステーション建設3基(360千円)	6,250	4,762	4,762	地域資源

No.	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	総事業費(千円)		支援金 内定額 (千円)	重点 テーマ 区分
							うち 支援金 要望額		
20	環境保全、 景観形成	ソフト・ ハード	“花と山と水” でもてなす村 づくり事業	大桑村	福沢桃介が須原発電所に持ち帰ったとされる「ハナモモ」を発祥の地として、国道19号線沿いの一部において、国道から下への傾斜の支障木伐採等を行い大桑発祥のハナモモを植栽する。 ①支障木伐採等(670千円)植栽(128千円) ②看板設置(334千円)	1,132	888	888	地域 資源
21	特色ある観 光地づくり	ソフト・ ハード	国際観光地 を目指した観 光地魅力 アップ事業	南木曽町	南木曽町の看板整備事業が3年目になる。今年は継続して駅周辺と中山道の看板整備と南木曽岳への登山者への看板整備を行う。また妻籠地域以外でも作務衣や法被による統一衣装で観光案内を行う。 ①作務衣・法被(486千円)案内板(424千円) ②大型看板(1,749千円)	2,659	2,039	2,039	観光 復興
22	特色ある観 光地づくり	ソフト・ ハード	木曾谷・郷土 料理リデザイ ン&プロモ ーション事業	南木曽町	南木曽町三留野地区では妻籠から与川へ抜ける中山道の中で飲食店がなく、観光振興の1つとして地域おこし協力隊に経営してもらえよう整備したい。内容として郷土料理の見直しと地域住民とのコラボレーションを図り季節に合った地元料理を提供していきたい。 ①メニュー作成(231千円)WEBサイト作成(421千円)リーフレット1,000部(62千円)映像作成(485千円)厨房機器(129千円)カード決済機(76千円) ②厨房機材(881千円)	2,286	1,784	1,784	観光 復興
23	特色ある観 光地づくり	ソフト・ ハード	和楽器体験・ 和楽器演奏 会等交流事 業	神楽組	妻籠地区で毎週月曜日・水曜日の夜に太鼓や笛、琴による和楽器の演奏を行い体験を通じて外国人観光客等に楽しんでいただいている。また、地元の子ども等が演奏に参加したい意向が増えているので衣装の統一、太鼓等の楽器を購入したい。 ①太鼓・琴・笛購入(1,861千円) ②桶胴太鼓(162千円)	2,023	1,609	1,609	観光 復興
24	特色ある観 光地づくり	ソフト	妻籠宿保存 工事50周年 記念事業	(公財)妻 籠を愛す る会	妻籠宿保存50周年の節目に当たり、記念講演会と記念誌(20周年記念の際に作成し刷新したい)、50年の瓦版保存、今年度の瓦版作成を行う。 ①講演会(246千円)記念誌(950千円)50年瓦版(945千円)今年の瓦版(130千円)記念品(300千円)	2,571	2,057	1,713	観光 復興
25	特色ある観 光地づくり	ハード	消えつつある 「水車」設置 事業	南木曽町 神戸神親 会	南木曽町で復元した義仲ゆかりの場所として「かぶと観音堂」があり中山道を歩く外国人等に立ち寄ってもらいたい場所である。この地区には昔は水車がいくつもあったが現在は無くなった。いずれは水車小屋まで建築したいが今回は水車のみを設置して観光資源として活用したい。また境内には日本一大きくなり抜きの水舟(7m)があり名所としてPRしていきたい。 ②水車本体(767千円)設置工事(1,026千円)	1,793	1,344	1,344	観光 復興
26	特色ある観 光地づくり	ソフト	「山岳高原」 伊那路・木 曽路観光誘 客 宣伝事業	伊那路・木 曽路広域 観光連携 会議	平成28年度に作成した「伊那路・木曽路トレイルガイド」を電子ブック化するとともに、信州DCに連動して名古屋駅において誘客に向けた観光キャラバンを実施する。 ①電子ブック作成(251千円)、観光キャラバン(1,216千円)	1,467	1,173	1,173	観光 復興
27	特色ある観 光地づくり	ソフト	国道361号線 でつながる 広域観光促 進事業	木曽観光 連盟	高根トンネル開通による国道361号線を基軸にした新たな広域観光ルートを推進するため、広域観光マップを製作してPRを行うとともに、商品造成に向けた木曽・伊那地域から高山市へのモニターツアーを実施する。 ①広域マップ製作(2,916千円)、モニターツアー(295千円)	3,211	2,568	2,332	観光 復興
28	特色ある観 光地づくり	ソフト・ ハード	木祖から源 氣に観光PR 事業	木祖村	木祖村の観光事業として水木沢天然林付近の看板整備、及びパンフレットの作成、観光PR用QRコード作成、グッズ戦略を行う。 ①パンフレット作成(524千円)QRコード作成(320千円)グッズ戦略ノート・付箋作成(1,944千円) ②看板作製(4,709千円)	7,497	5,761	4,206	観光 復興
29	特色ある観 光地づくり	ソフト	王滝村春ま つり	王滝観光 総合事務 所	5月のGWに松原公園をメイン会場として「王滝村春まつり」イベントを開催し集客を図る。内容としてはカヌー、ウォーキング、林欵作業、クライミング(休暇村)を予定している。イベントは2日間行う。 ①チラシ・のぼり等PR費(554千円)	694	442	442	観光 復興
30	特色ある観 光地づくり	ソフト・ ハード	合宿トレー ニング走 路整備 事業	王滝観光 総合事務 所	王滝村八海山(標高1,600m付近)スキー場駐車場に高地トレーニングコース1,000mの整備を会員協働作業で行う。(ライン引き)旧高原スキー場(標高1,300m付近)に最長1,000m×巾2mのコースを採石を入れて整備したが、今年度は500m分のコース整備を行う。 ①八海山駐車場ライン塗料(92千円) ②旧高原スキー場コース整備(1,291千円)	1,383	1,040	1,040	観光 復興
31	農業の振興 と農山村づく り	ソフト	えごまを用 いた薬草栽培	南木曽薬 草の会	薬草の試験栽培として昨年は10aに防風(2年草)イカリソウ(3年目から収穫)を栽培した。今年はさらに20a整備したい。また薬草栽培の一環として「えごま」を作りの試験を行いたい。 ①圃場整備(208千円)試験栽培(390千円)洗浄・乾燥設備(311千円)講演会(40千円)	949	758	758	地域 資源
32	農業の振興 と農山村づく り	ソフト・ ハード	開田高原ベ ジフェスタ 「軽トラ市」	木曽町	高原野菜の美味しさを発信し生産者の意欲向上につなげるため、開田高原ベジフェスタ「軽トラ市」を開催する。また、10.11月には根菜類しかなくなるため、夏のうちに夏野菜を乾燥して販売するため、フード乾燥機を導入する。(昨年長野市のJA女性グループの乾燥フードを視察) ①リーフレット等作成(160千円) ②フード乾燥機(756千円)	916	695	695	地域 資源
33	農業の振興 と農山村づく り	ソフト	そばの学校 inふるさと 体験館きそ ふくしま	特定非営 利活動法 人 ふる さと交 流木 曽	そば文化の伝承、そばの利用促進及びすんきそばのPRのために安曇野市の全産協5段の講師を招き、そば打ち教室を開催し仲間づくりと人的資源の育成を目的として、「そばの学校」を開催する。 ①研修会費(129千円)、そば打ち道具等(369千円)、募集チラシ(59千円)	557	445	372	地域 資源
34	農業の振興 と農山村づく り	ソフト・ ハード	開田高原え ごま生産プロ ジェクト	開田高原 えごま生 産プロ ジェクト チーム	除草対策として全面マルチ実施を実施し、増産に対応するためパイプハウス(6m×25m)及び乾燥棚を設置、品質保持のため水分計を導入するとともに、付加価値化に向けて先進地から講師を招き調査と研究を行う。 ①調査研究(80千円) ②水分計(202千円)、全面マルチャー(1,305千円)、パイプハウス(980千円)、乾燥棚(375千円)、	3,123	1,881	1,881	
35	農業の振興 と農山村づく り	ソフト	農林産物を 守る有害鳥 獣対策事業	大桑村	大桑村には集団で狩猟を行うマタギの文化が残っており、鳥獣被害対策実施隊(非常勤職員扱い)が行っている。まき狩りの際等に周りとの連絡を取りあうことに必要な無線機を購入したい。 ①無線機35台(1,825千円)車載器2台(158千円)	1,983	1,487	1,487	
36	森林づくり と林業の振興	ハード	会員協働に よる木曽国 際射撃場ヒ ノキ間伐材安 定柵設置事 業	木曽猟友 会	上松町「木曽国際射撃場」の実技エリアに入らないよう木曽地域のヒノキ間伐材を利用して安全柵の設置を行う。基礎の部分については業者委託を行い、柵の部分については原材料費のみで木曽郡の猟友会員の会員協働で安全柵設置をする。 ②基礎工事・撤去費(326千円)柵材料代(1,407千円)	1,733	1,299	1,299	地域 資源
37	森林づくり と林業の振興	ソフト	水源の森を 育てる地域 間交流事業	木曽広域 連合	森林整備の重要性について、木曽川下流域及び愛知用水利用地域の自治体・企業・民間団体等を対象とした交流・啓発活動を行うほか、下流域の児童・生徒を対象とした野外体験学習の受入体制の構築、木曽産材及び木工関連製品のPRを行う。 ①交流の拡大事業(1,410千円)	1,410	951	902	地域 資源
38	その他(産 業の振興及 び雇用の拡 大)	ソフト	地域ジャー ナリスト育 成事業	(一社)木 曽人	上松町「木曽人」において将来地域FM局を開設するにあたり地域ジャーナリスト育成事業として木曽人メディア塾を創設する。そこで木曽地域の地理や情報等を熟知したジャーナリストを育てる。地域情報を発信する人材育成事業を行う。受講料は無料、子育てがひと段落した主婦をターゲットに考えている。7名は生徒として予定し30人程度特別聴講で見学できるように計画している。 ①チラシ(195千円)塾開催費(518千円)	713	570	570	地域 資源
39	その他(産 業の振興及 び雇用の拡 大)	ソフト	木曽産ジビ エ、プラット ホームづく り事業	(一社)木 曽人	11月からの狩猟季前に木曽産ジビエのイノシシについて料理研修を行う(レシピ本350部作成)。また西部地区(王滝、三岳、才児)方面に精肉加工所の建設について研究会を開催。 ①広報費(311千円)勉強会(70千円)原材料費(146千円)	526	421	421	地域 資源

No.	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	総事業費(千円)		支援金 内定額 (千円)	重点 テーマ 区分
							うち 支援金 要望額		
40	その他(産業の振興及び雇用の拡大)	ソフト	毎月29日「ねざめ市(緑日)」開催事業	(一社)木曾人	上松町「臨川寺」において毎月29日に「思い出供養」を行っているがそのイベントに併せて境内で縁日を計8回開きたい。観光地としての魅力向上と寝覚地域美化活動団体による美化活動を行い参画意識の向上を図りたい。 ①チラシ等(475千円)テント5基(173千円)立て看板6基(227千円)美化活動費(19千円)	894	715	715	観光復興
41	その他(産業の振興及び雇用の拡大)	ソフト	ひのきの里上松 御木曳イベント事業	(一社)上松町観光協会	20年に1度の伊勢神宮の式年遷宮行事の斧入れ式に伴いひのきの伐採から製材までの流れを記録する。また同時に上松町でも観光イベントを行い地位で盛り上げていく。 ①映像記録(864千円)太鼓謝金(500千円)奉曳車修繕(500千円)提灯等(679千円)チラシポスター(272千円)木曾人掲載(216千円)会場使用料(38千円)スタッフ法被・タスキ(555千円)警備・運搬費等(238千円)保険(100千円)	3,962	3,169	2,769	地域資源
42	その他(産業の振興及び雇用の拡大)	ソフト	南木曾町に行きたくなくなる「南木曾ろくろ細工」パンフレット制作	南木曾ろくろ工芸協同組合	南木曾町の伝統工芸である「ろくろ細工」の技術の継承、後継者育成のためにろくろ細工の素晴らしさをPRしたパンフレットの作成をしたい。また英文も取り入れた作成を行いたい。 ①パンフレット作成(1,296千円)	1,296	1,036	1,036	地域資源
43	その他(産業の振興及び雇用の拡大)	ソフト	開田高原ヘルスツーリズム推進事業	木曾町	開田高原の地域資源を活用したヘルスツーリズムを構築するため、木曾馬と歩く健康ウォーキングについて木曾ヘルシー弁当の開発やコース整備を行うほか、高原サイクリングについて店舗へのバイクスタンドの設置等を行う。 ①馬の出役(160千円)、ヘルシー弁当開発(41千円)、コース整備等(144千円)、バイクスタンド設置(181千円)、スタンプラリー(201千円)、宣伝広告(201千円)	1,028	822	822	ACE
44	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	木曾ブランドコンセプトに基づく情報発信事業	木曾観光連盟	木曾地域全体のブランドコンセプトを会議で決定し、コンセプトを基に各観光協会、教育委員会及び地域活性化団体と連携しながら、地域に住む人々を主役とするストーリー性を持った情報発信を木曾路.comにて一元的に行う。 ①システム構築(4,331千円)、ライティング(2,441千円)、アドバイザー報酬費(170千円)	6,942	5,553	5,553	観光復興
45	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	元気を生み出す地域づくり事業	開田高原倶楽部	開田高原の地粉を使った「かいだ生そば」や開田カブを使った「すんき」を町内外に宣伝するとともに、オリジナルポストカードを観光客に無料配布して全国各地に発送してもらい、観光地の魅力をPRする。また、1ターナーフォーラムを開催し、交流や意見交換の場とする。 ①かいだそば等販売促進(169千円)、1ターナーフォーラム(187千円)、地域PR(89千円)	445	333	333	
木曾地域振興局 計					45 事業	89,676	66,524	60,651	

【再掲】木曾地域及び県全域で重点的に推進するテーマに関する事業

重点テーマ区分	件数	支援額
観光の復興(複数市町村を区域とする広域DMOの設立促進を含む)	12	23,950
地域防災力の強化	4	5,762
地域資源の魅力向上	16	19,860
医療、福祉、子育て支援の充実	1	385
若者、子育て世代の移住・定住・就労促進	1	1,285
生活の足(地域交通)の確保・充実	0	0
しあわせ×2信州運動の推進(地消地産)	0	0
人生二毛作社会の推進	0	0
信州ACEプロジェクトの推進	2	2,609
合計	36	53,851